

Tracking base

製品に関する指示

型式

Tracking Base

部品番号

6158133350



この文書の最新バージョンをダウンロード

http://www.desouttertools.com/info/6159925540_JA

	⚠ 警告
	安全の警告と指示を精読してください 安全の警告と指示に従わないと、感電や火事、または重傷につながる場合があります。 今後の参考のために警告と指示を全部保管しておいてください

目次

製品情報	3
一般情報	3
保証	3
ウェブサイト	3
スペアパーツに関する詳細	3
寸法	4
CAD ファイル	4
概要	4
仮想ケーブル	4
技術データ	6
説明	6
取り付け	8
設置要件	8
取り付け前にお読みください	8
ファームウェアおよびソフトウェアの最低バージョン	8
マスタートラッキングベースの通信設定を定義する	8
トラッキングベースファームウェアの更新	11
トラッカーの通信設定を定義する	13
トラッカーファームウェアの更新	14
設置の手順	15
電源供給と通信	15
取り付け	16
インジケータの見方	16
操作	19
構成手順	19
仮想ケーブルの設定方法	19
操作手順	24
仮想ケーブルソリューションの使用	24
トラブルシューティング	26
仮想ケーブルのトラブルシューティング	26

製品情報

一般情報

警告 物的損害や重傷を負う危険性

ツールを操作する前にすべての指示を読み、理解し、それらに従っていることを確認してください。すべての注意事項に従わない場合、感電、火災、物的損傷、重傷に至る危険性があります。

- ▶ システムのさまざまな部品とともに提供される安全情報をお読みください。
- ▶ システムのさまざまな部品の設置、運用、保守のための製品注意事項をお読みください。
- ▶ システムおよびその部品に関するすべてのローカル規定安全規制をお読みください。
- ▶ 今後の参考のために、すべての安全情報と注意事項を保管しておいてください。

保証

- 製品保証は、製品を最初に使用してから 12 か月で有効期限が切れますが、いかなる場合でも納品後、最長 13 か月で有効期限が切れます。
- 部品の通常の磨耗や傷は保証に含まれません。
 - 通常の磨耗および裂傷は、その期間に典型的な標準的な工具のメンテナンス（時間、稼働時間などで表される）中に部品交換またはその他の調整/オーバーホールが必要なものです。
- 製品保証は、ツールとその構成部品の正しい使用、メンテナンスおよび修理に依存しています。
- 不適切なメンテナンス、または、保証期間中に Desoutter以外の人またはその認証サービスパートナーによって実施されたメンテナンスの結果発生した部品の損傷は保証対象となりません。
- ツール部品の損傷や破壊を防ぐために、推奨されるメンテナンススケジュールに従ってツールの整備を行い、適切な手順に従ってください。
- 保証による修理は、必ず Desoutterワークショップで、または認定サービスパートナーが実施してください。

その Desoutter契約により、延長保証と最新式の予防保守を提供します。Tool Care詳細については、お近くのサービス担当者にお問い合わせください。

電動モータの場合：

- 電動モータが開かれていない場合のみ保証が適用されます。

ウェブサイト

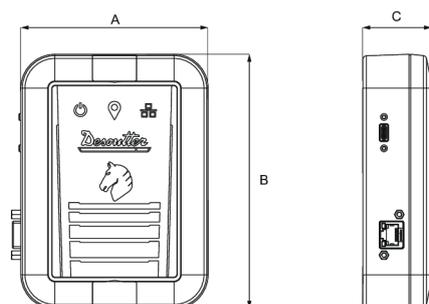
当社の製品、付属品、スペアパーツおよび公表事項に関する情報は、DesoutterのWebサイトにてご覧いただけます。

次をご覧ください：www.desouttertools.com.

スペアパーツに関する詳細

分解図および予備部品のリストは次のサービスリンク www.desouttertools.com でご覧ください。

寸法



	mm	in
A	110	4.33
B	150	5.90
C	40	1.57

CAD ファイル

製品寸法について、詳しくは寸法図面の記録資料をご覧ください:

<https://www.desouttertools.com/resource-centre>

概要

仮想ケーブル

仮想ケーブルは、UWB (超広帯域) テクノロジーをベースにした Desoutter ソリューションです。これにより、オペレーターは、作業スペースという名前の付いた、定義済み領域の外でツールを使用できなくなります。

これは CONNECT に接続されている マスタートラッキングベース および トラッカー (TRACKER-EABC e-LINK、TRACKER-EPBC と TRACKER-EABS シリーズ) が装備されたツールで構成されています。

マスタートラッキングベースは、独自の作業スペースを制御する最大7つの追加追跡ベースを管理できます。

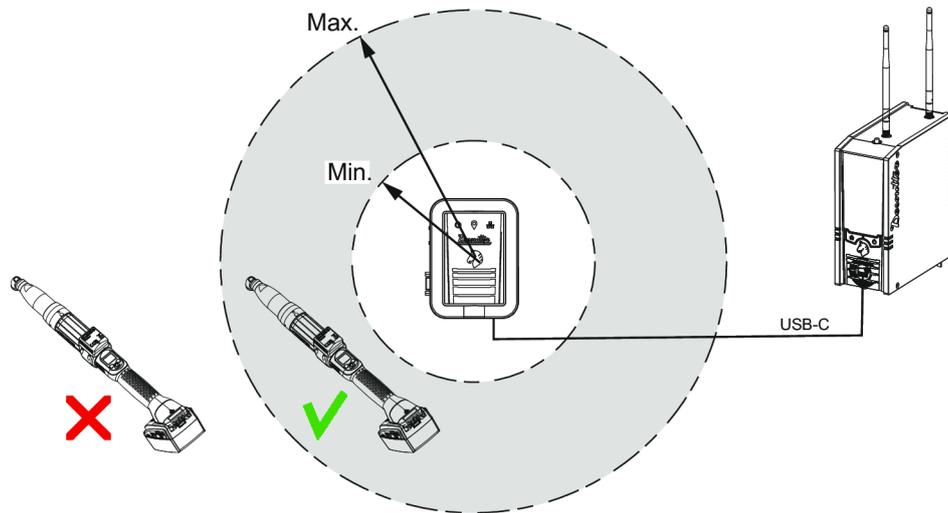
各トラッキングベースは、最大8つのトラッカーを管理できます。

すべてのデバイス (トラッキングベース、トラッカー) は、マスタートラッキングベースから半径15/20 m (49/65フィート) 以内にある必要があります。

このソリューションを使用するには追加 UV が必要です。

設置例 - 1作業スペース

マスタートラッキングベースはUSB-C経由でCONNECTに接続されています。



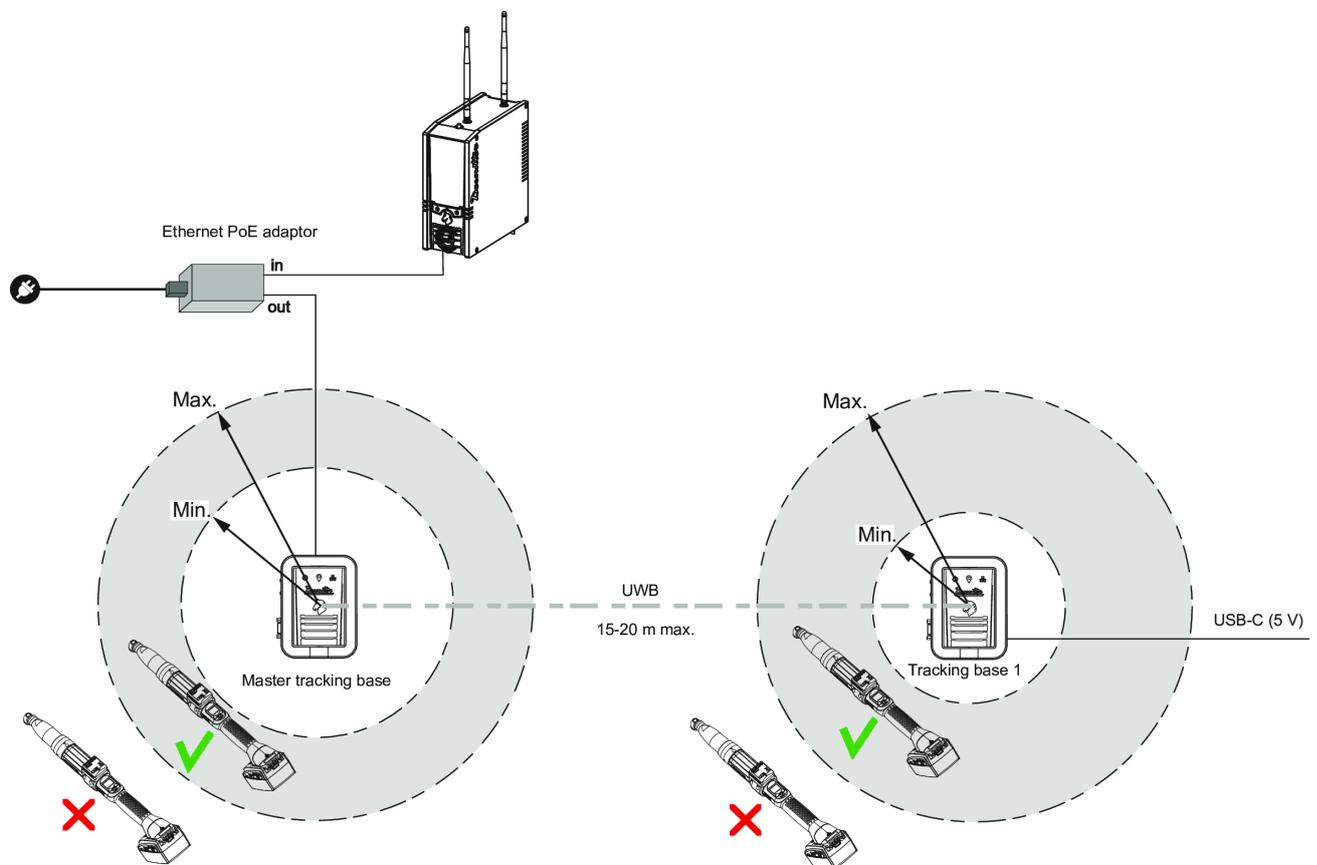
設置例 - 2作業スペース

マスタートラッキングベースはイーサネット経由でCONNECTに接続されています。

トラッキングベースは、外部 USB-C (5V) から給電されます。

トラッキングベースは UWB を介して通信しています。

ワークステーションの構成によっては、トラッキングベース同士の距離が 15 ~ 20 m (49/65 フィート) を超えることが出来ない場合があります。



技術データ

電源

PoE: 48 V USB-C: 5 V 

消費電力

PoE

20 mA

PoE 電源供給でのLPS (有限電源)

最大 PoE 供給電源: 15.4 W

USB-C

180 mA

重量

0.280 kg

0.62 lb

保管と使用条件

保管温度	0 ~ +40°C (32 ~ +104 F)
作動温度	+5 ~ 40 °C (41 ~ 104 F)
保管湿度	0-80 % RH (結露しないこと)
動作湿度	0-80 % RH (結露しないこと)
最高高度	2000 m (6562 ft)

汚染度2の環境で使用可能

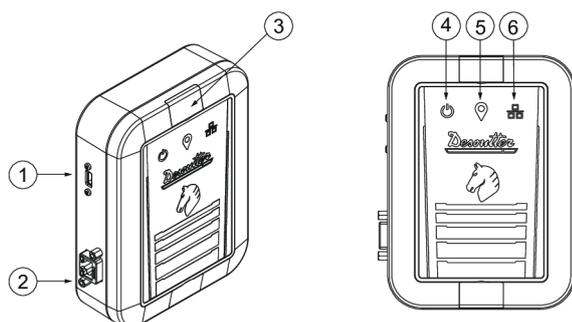
IP54

屋内使用のみ

ワイヤレス通信仕様

周波数 : 3.2 - 7.0GHz 電力 - 0.831dBm

説明



1	USB-C
2	イーサネット/イーサネットPoE
3	取り付けネジアクセスドア
4	電源インジケータ
5	UWBインジケータ
6	イーサネット/USBインジケータ

取り付け

設置要件

取り付け前にお読みください

- ツールに取り付けられたトラッカーは、常にトラッキングベースから見えている必要が有ります。
 - トラッカーと追跡ベースの間に金属製の構造物を置かないようにしてください。
 - すべての機器（追跡ベース、トラッカー）は、マスター追跡ベースから半径15/20 m（49/65フィート）以内に有る必要があります。
 - 通信がUSBに設定されている場合、CONNECTから5 m（16フィート）を超えた位置にマスター追跡ベースを配置することはできません。
 - 追跡ベースを作業領域の中央の隣に配置します。
 - 追跡ベースは、床上最大2メートル（6.5 フィート）の高さに配置します。
- ① 他のUWBシステムが、トラッカーと追跡ベースとの間で使用される通信を妨害する可能性があります。

通信に使用されるUWB無線チャンネルは、CVIMONITORを使用して変更することができます。

ファームウェアおよびソフトウェアの最低バージョン

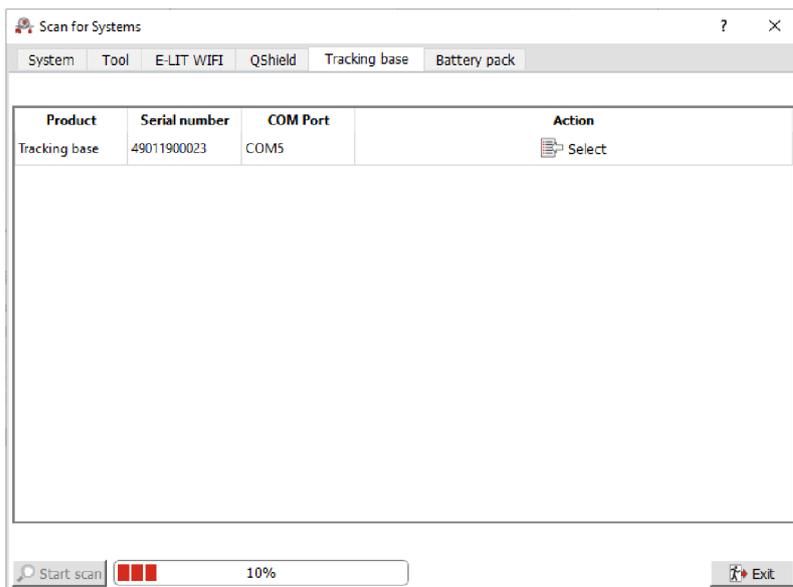
製品	バージョン
CONNECT	V 2.1.5.x
CVI CONFIG	V 2.3.4.x
CVIMONITOR	V 1.7.8.x

マスタートラッキングベースの通信設定を定義する

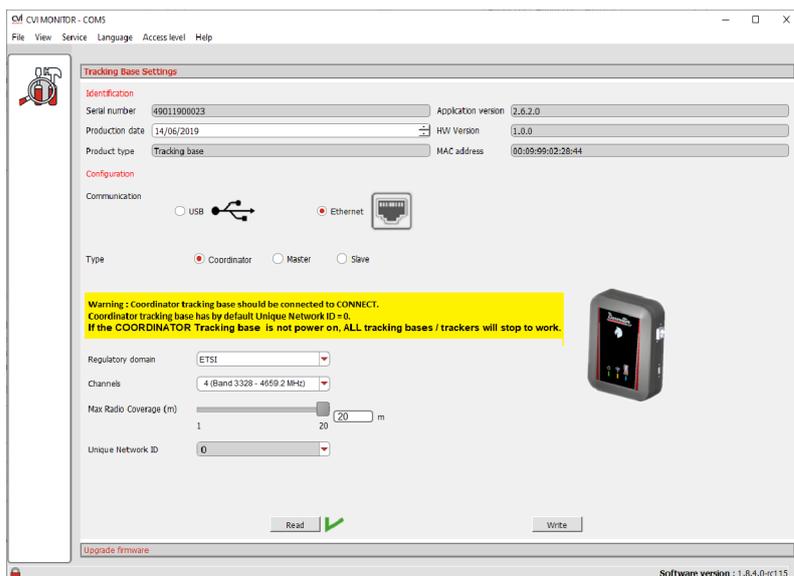
マスタートラッキングベースをワークステーションにインストールする前に、通信設定を確認してください。

1. USB-C ケーブルをマスタートラッキングベースからCVIMONITORがインストールされているコンピュータに接続します。

2. CVIMONITOR を起動させます。ファームウェアおよびソフトウェアの最低バージョン [ページ 8]。

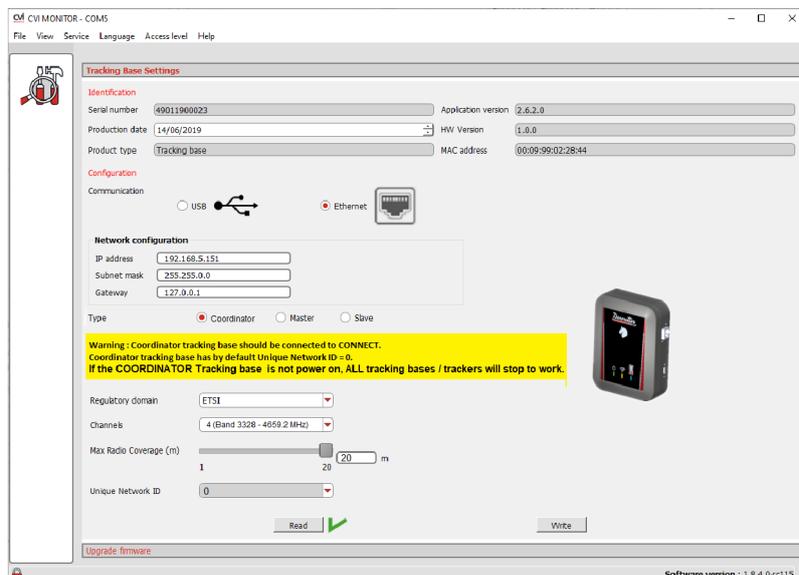


3. [トラッキングベース] タブをクリックします。
4. トラッキングベースが表示されたら、[選択]をクリックします。



5. トラッキングベースをCONNECTのUSBポートに物理的に接続する必要がある場合は、[USB] を選択します。

[書き込み]をクリックします。



6. トラッキングベースをCONNECTのイーサネットポートに接続する必要がある場合は、[イーサネット] を選択します。

追跡ベースのIPアドレス (デフォルトでは192.168.5.151)、そのサブネットマスク (デフォルトでは255.255.255.0)、ゲートウェイ (デフォルトでは127.0.0.1) を入力します。

[書き込み]をクリックします。

7. トラッキングベースのMACアドレスを書き留めます。この情報は、CONNECTまたCVI CONFIG.の仮想システム構成で必須です。

使用されるUWB無線チャンネルはデフォルトで2に設定されています (帯域3774 – 4243.2MHz)。UWB無線チャンネルは次が可能です：

トラッキングベースモデル	UWB チャンネル	領域
FCC	チャンネル1 (帯域 3244.8 - 3744 MHz)	FCC (米国およびカナダ)
FCC、CE	チャンネル2 (帯域 3774 - 4243.2 MHz)	ETSI (ヨーロッパ) およびFCC (米国およびカナダ)
FCC、CE	チャンネル3 (帯域 4243.2 - 4742.4 MHz)	ETSI (ヨーロッパ) およびFCC (米国およびカナダ)
FCC、CE	チャンネル4 (帯域 3328 - 4659.2 MHz)	ETSI (ヨーロッパ) およびFCC (米国およびカナダ)
FCC、CE	チャンネル5 (帯域 6240 - 6739.2 MHz)	ETSI (ヨーロッパ) およびFCC (米国およびカナダ) およびSRRC (中国)
FCC、CE	チャンネル7 (帯域 5980.3 - 6998.9 MHz)	ETSI (ヨーロッパ) およびFCC (米国およびカナダ)

トラッキングベースモデルタイプ:

トラッキングベースモデルタイプ	トラッキングベース シリアル番号 インデックス	製造日
CEのみ	4900xxxxxxx ~ 4903xxxxxxx インデックス = 0 から 3 まで	2021年以前
CE & FCC	4904xxxxxxx以降 インデックス = 4 から	2021年以降

トラッキングベースタイプ (デフォルトではコーディネーター)、最大無線力バレッジ (デフォルトでは 20メートル)、および一意のネットワークID (デフォルトでは 0) を選択します。

ネットワークID = 0は、コーディネータートラッキングベースを定義します。コーディネータートラッキングベースの電源がオンになっていない場合、すべてのトラッキングベース (マスター/スレーブ) とトラッカーは動作を停止します。

トラッキングベースファームウェアバージョン 2.7 以降でのみ、コーディネータートラッキングベースの電源がオンになっていない場合、マスタートラッキングベースが自動的に新しいコーディネーターとして選ばれます。この場合、すべてのトラッキングベース (マスター/スレーブ) とトラッカーは引き続き機能します。

コーディネーターのトラッキングは、高速で点滅するUWBインジケータで識別することが出来ます。

コーディネーターとマスタートラッキングベースが機能するには、CONNECTと電源を備えた接続 (USB またはイーサネット) が必要です。電源は次の方法で供給できます :

- USB通信
- イーサネット (CONNECTがPoEの場合)
- PoEインジェクター。

ネットワークID構成は、マスタートラッキングベースにのみ適用されます。

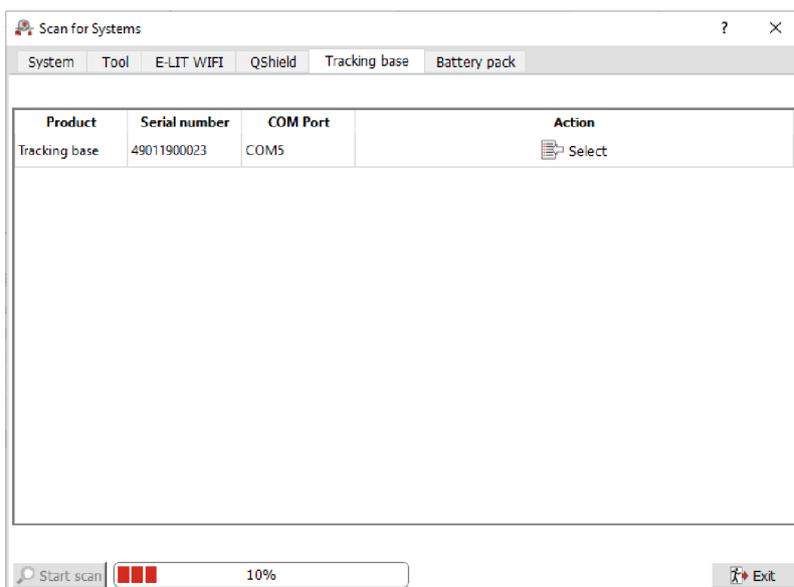
スレーブトラッキングベースはマスタートラッキングベースに依存します。スレーブトラッキングベースが動作するには、電源のみを必要とします。

トラッキングベースファームウェアの更新

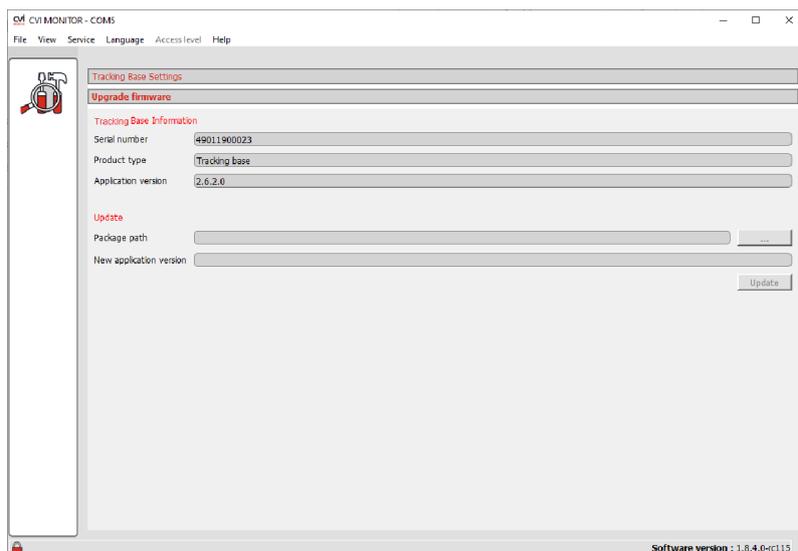
マスタートラッキングベースをワークステーションにインストールする前に、トラッキングベースのファームウェアを確認してください。

1. USB-C ケーブルをマスタートラッキングベースから CVIMONITOR がインストールされているコンピュータに接続します。

- CVIMONITORを起動します。



- [トラッキングベース] タブをクリックします。
- トラッキングベースを選択します。
- [ファームウェアのアップグレード]パネルを選択します。



- CVIキーを生産セットアップで正しく接続します。
- ...ボタンを押して、トラッキングベースのZIPパッケージを選択します。
 - ① トラッキングベースの ZIP パッケージは、以下から入手できる Desoutter サポートライブラリにあります：

https://thehub.group.atlascopco.com/Teams/CPD_rd_desoutter/SitePages/DSL.aspx

- [更新] ボタンを押します。
- 更新の進行状況を示す進行状況バーが表示されます。

トラッカーの通信設定を定義する

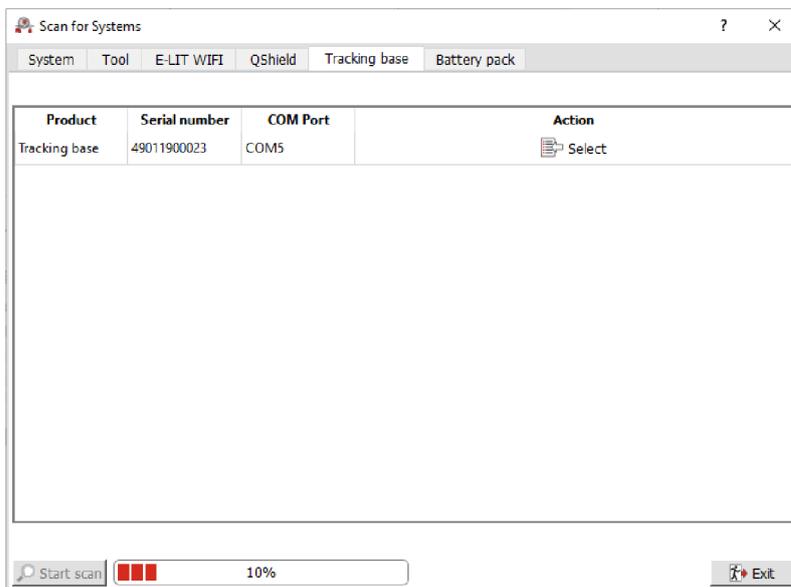
ワークステーションでトラッカーを使用する前に、まずツールでの正しいインストールを確認してください。

- ① トラッカー (印刷物トラッカー (EABC) 6158132590、トラッカー (EPBC) 6158132600、トラッカー (EABS) 6158134150) の安全上の注意事項を参照してください。

<https://www.desouttertools.com/resource-centre>.

その後、通信設定を確認してください。

1. トラッカーのあるツールからCVIMONITORがインストールされているコンピューターにUSB-Cケーブルを接続します。
2. CVIMONITORを起動します。



3. ツールを選択します。
4. [ツール識別] タブを選択します。
5. CVIキーをツール変更セットアップで正しく接続します。
6. ツールでトラッカーアクセサリを宣言します。



7. トラッカーのMACアドレスを書き留めます。
8. この情報は、CONNECTまたはCVICONFIGを使用した仮想システム構成では必須です。

9. 使用されるUWB無線チャンネルはデフォルトで2に設定されています (帯域3774 – 4243.2MHz)。UWB無線チャンネルは次が可能です :

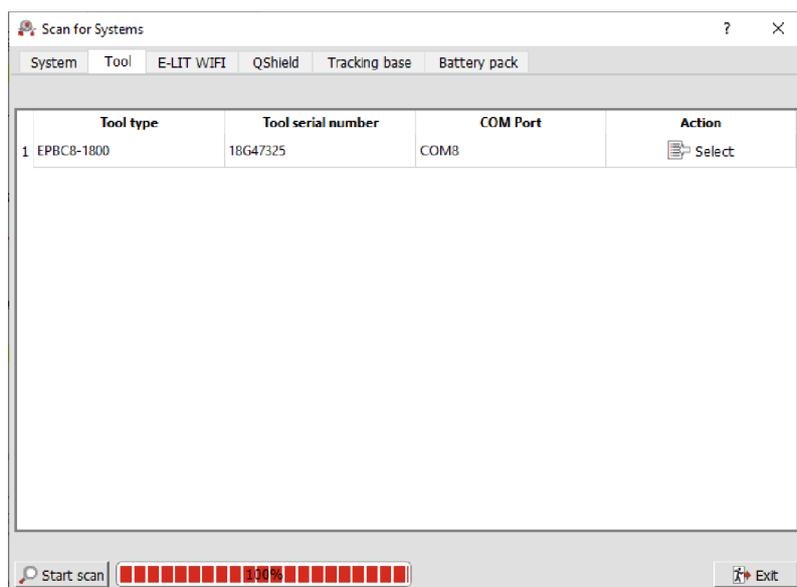
UWB チャンネル	領域
チャンネル1 (帯域 3244.8 - 3744 MHz)	FCC (米国およびカナダ)
チャンネル2 (帯域 3774 - 4243.2 MHz)	ETSI (ヨーロッパ) およびFCC (米国およびカナダ)
チャンネル3 (帯域 4243.2 - 4742.4 MHz)	ETSI (ヨーロッパ) およびFCC (米国およびカナダ)
チャンネル4 (帯域 3328 - 4659.2 MHz)	ETSI (ヨーロッパ) およびFCC (米国およびカナダ)
チャンネル5 (帯域 6240 - 6739.2 MHz)	ETSI (ヨーロッパ) およびFCC (米国およびカナダ) およびSRRC (中国)
チャンネル7 (帯域 5980.3 - 6998.9 MHz)	ETSI (ヨーロッパ) およびFCC (米国およびカナダ)

- ① UWB 無線チャンネルは、トラッカーとトラッキングベースの間で同じにする必要があります。

トラッカーファームウェアの更新

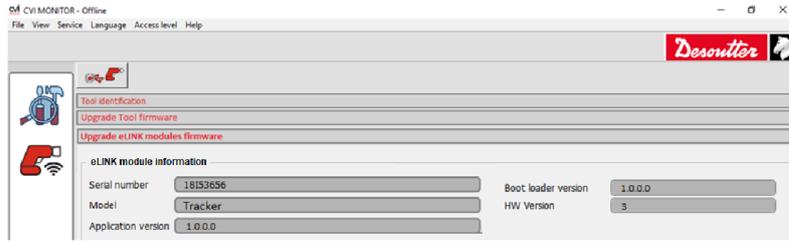
トラッカーをワークステーションにインストールする前に、トラッキングベースのファームウェアを確認してください。

1. トラッカーのあるツールからCVIMONITORがインストールされているコンピューターにUSB-Cケーブルを接続します。
2. CVIMONITORを起動します。



3. ツールを選択します。

4. [eLink モジュールのファームウェアをアップグレード] タブを選択します。



5. CVIキーを生産セットアップで正しく接続します。
6. ●●ボタンを押して、トラッカーベースのZIPパッケージを選択します。
- ① トラッカーの ZIP パッケージは、以下から入手できる Desoutter サポートライブラリにあります：

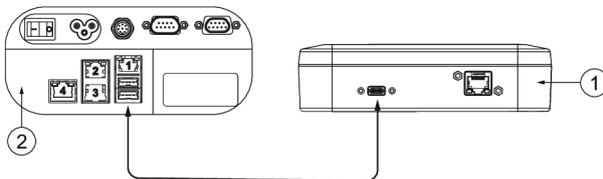
https://thehub.group.atlascopco.com/Teams/CPD_rd_desoutter/SitePages/DSL.aspx

7. [更新] ボタンを押します。
8. 更新の進行状況を示す進行状況バーが表示されます。

設置の手順

電源供給と通信

USB-C経由



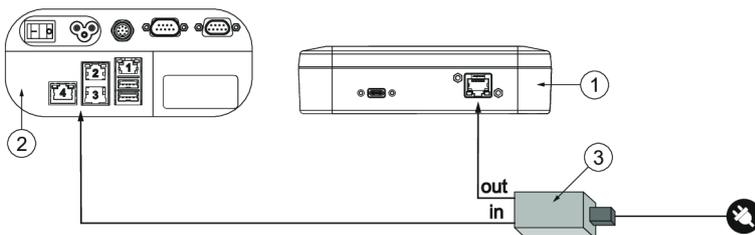
- | | |
|---|---------------|
| 1 | 追跡ベース |
| 2 | CONNECT 内部パネル |

追跡ベースとCONNECTの任意のUSBポートにUSB3.0 A - Cケーブル (別売) を差し込みます。

- ① 電源供給と通信がともに供給されます。

外部PoEインジェクタ経由

- ① PoEインジェクタは同梱されていません。



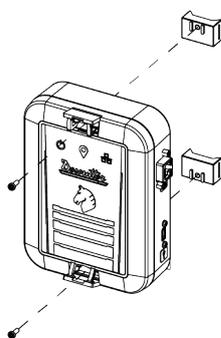
- | | |
|---|--------------|
| 1 | 追跡ベース |
| 2 | CONNECT内部パネル |
| 3 | 外部PoEインジェクタ |

イーサネットケーブルをPoEインジェクタ（入）と追跡ベースのイーサネットポートに差し込みます。
イーサネットケーブルをPoEインジェクタ（出）とCONNECTに差し込みます。

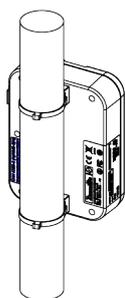
取り付け

トラッキングベースを取り付ける前に、このマニュアルの **取り付け前にお読みください** [ページ 8]章に記載されている手順を参照してください。

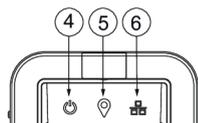
1. トラッキングベースの前面パネルにある取り付けネジアクセスドアを開きます。
2. 次に示すように、M4 Torxネジとブラケット（付属）を配置します。
手でネジを締めます。



3. ナylonケーブルタイ（付属していません）をブラケットに通し、選択した場所に固定します。
例：



インジケータの見方



トラッキングベースがコーディネーターの場合：

アイテム	インジケータ	説明
4	電源インジケータ	このLEDは電源が正しく供給されているときは白色に点灯したままとなります。

アイテム	インジケータ	説明
5	UWBインジケータ	このLEDは、UWB通信ステータスを示します： <ul style="list-style-type: none"> ・ 青 (点滅) : トラッキングベース/トラッカー間の通信が機能していません ・ 緑 (点滅) : トラッキングベース/トラッカー間の通信が機能しています。
6	イーサネット/USBインジケータ	このLEDは、トラッキングベースとCONNECTとの間のイーサネット/USB通信ステータスを示します。 イーサネット/USB通信が確立されると、このLEDは青色で点灯し、定常点灯したままとなります。 コーデイナーを使用して、UWBデバイスのみを同期することもできます。この場合、イーサネット/USBは使用できません。

トラッキングベースがマスターの場合:

アイテム	インジケータ	説明
4	電源インジケータ	このLEDは電源が正しく供給されているときは白色に点灯したままとなります。
5	UWBインジケータ	このLEDは、UWB通信ステータスを示します： <ul style="list-style-type: none"> ・ 赤 (点灯) : マスタートラッキングベース/CONNECT間の設定に問題があります。 ・ 青 (点灯) : マスタートラッキングベース/スレーブトラッキングベースまたはトラッカー間の通信が機能していません。 ・ 緑 (点灯) : マスタートラッキングベース/スレーブトラッキングベースまたはトラッカー間の通信が機能しています。
6	イーサネット/USBインジケータ	このLEDは、トラッキングベースとCONNECTとの間のイーサネット/USB通信ステータスを示します。 イーサネット/USB通信が確立されると、このLEDは青色で点灯し、定常点灯したままとなります。 コーデイナーを使用して、UWBデバイスのみを同期することもできます。この場合、イーサネット/USBは使用できません。

トラッキングベースファームウェアバージョン 2.7 以降でのみ、コーデイナートラッキングベースの電源がオンになっていない場合、マスタートラッキングベースが自動的に新しいコーデイナーとして選ばれます。

トラッキングベースがスレーブの場合:

アイテム	インジケータ	説明
4	電源インジケータ	このLEDは電源が正しく供給されているときは白色に点灯したままとなります。
5	UWBインジケータ	このLEDは、UWB通信ステータスを示します： <ul style="list-style-type: none">・ 赤 (点灯): マスタートラッキングベース/スレーブトラッキングベースの設定に問題があります。・ 青 (点灯) : スレーブトラッキングベース/トラッカー間の通信が機能していません。・ 緑 (点灯) : スレーブトラッキングベース/トラッカー間の通信が機能しています。
6	イーサネット/USBインジケータ	未使用

操作

構成手順

仮想ケーブルの設定方法

開始前にお読みください

1. 締め付けツールにはトラッカーが装備されています。
各締め付けツールは締め付けユニットに関連付けられており、Psetを実行する準備ができています。
 2. トラッカーはCONNECTで宣言する必要があります。
 3. マスター追跡ベースは、CONNECTで設定する必要があります。
 4. CONNECTまたはCVI CONFIGを使用して作業スペースを設定することができます。
- ① トラッカーと追跡ベースのMACアドレスをメモし、それらを利用可能な状態に保っておいてください。
トラッカーのMACアドレスは、フロントパネルにあります。
追跡ベースのMACアドレスは、背面パネルのラベルに記載されています。

トラッカーの宣言

CONNECTへ行きます。

[構成] > [システム] > [周辺機器] > [追跡システム] > [トラッカー] の順にタップします。

チェックボックス「トラッカーを探す」をオンにします。

下の白いボックスをクリックすると、「MACアドレス」の画面が表示されます。

キーボードを使用して下6桁を入力します。



このアイコンをタップして認証します。

マスター追跡ベースのセットアップ方法

CONNECTへ行きます。

1 - CONNECTとの通信がUSB経由の場合

[構成] > [システム] > [周辺機器] > [シリアル/USB] > [USB] の順にタップします。

物理的な構成に応じて追跡システムをUSB 1またはUSB 2に設定します。

[構成] > [システム] > [周辺機器] > [追跡システム] > [設定] の順にタップします。

チェックボックス「追跡システムを有効にする」をオンにします。



このアイコンをタップして認証します。

2 - CONNECTとの通信がイーサネット経由の場合

[構成] > [システム] > [周辺機器] > [追跡システム] > [設定] の順にタップします。

チェックボックス「追跡システムを有効にする」をオンにします。

「イーサネット通信」を選択します。

追跡ベースのIPアドレスを入力します (デフォルトは192.168.5.151)。



このアイコンをタップして認証します。

3 - 追跡ベースの宣言

[構成] > [システム] > [周辺機器] > [追跡システム] > [追跡ベース] の順にタップします。



このアイコンをタップして追跡ベースを追加します。

追跡ベースをカスタマイズするには、「追跡ベース名-1」をクリックします。

下の白いボックスをクリックすると、「MACアドレス」の画面が表示されます。

キーボードを使用して下6桁を入力します。



このアイコンをタップして認証します。

4 - マスター追跡ベースとCONNECTの間の通信を確認する

[構成] > [システム] > [周辺機器] > [追跡システム] > [確認] の順にタップします。

[確認] をタップします。

通信が正しければ、チェックマークが表示されます。

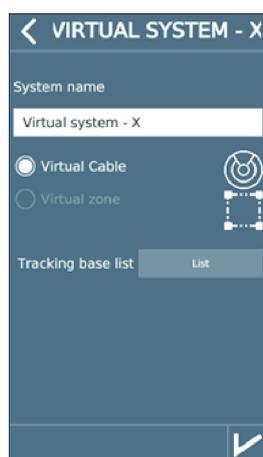
CONNECT での作業領域の作成方法

1 - 追跡ベースに関連付けられた仮想ケーブルシステムを作成する

[構成] > [システム] > [周辺機器] > [追跡システム] > [インフラ] の順にタップします。



このアイコンをタップします。



名称を選びます。

[リスト]ボタンをタップして既存の追跡ベースのリストを開きます。

追跡ベースをタップして選択します。ボックスが薄い灰色に変わります。



このアイコンをタップして認証します。



仮想ケーブルシステムが作成されました。

2 - 作業領域に関連付ける締め付けユニットを選択します

[構成] > [システム] > [周辺機器] > [追跡システム] > [インフラ] の順にタップします。



緑色のタイルをタップします。



このアイコンをタップします。

作業領域の名前をカスタマイズします。

[空のリスト]ボタンをタップして既存の締め付けユニットのリストを開きます。

締め付けユニットをタップして選択します。ボックスが薄い灰色に変わります。



このアイコンをタップして認証します。



締め付けユニットが選択されました。

3 - 作業領域を使用して締め付けユニットのUVを有効にします

CVI CONFIG へ行きます。

CONNECT がコンピュータに接続されていることを確認します。

作業領域を作成して CONNECT を追加し、IP アドレスを確認します。



アイコンをクリックして CVI CONFIG を更新します。

[機能管理] に進みます。

機能「仮想ケーブル1作業領域」は存在しますが、アクティブではありません。



このアイコンをクリックします。



製品を更新するにはこのアイコンをクリックします。

4 - 作業スペースの作成を終了します

次の画面まで締め付けユニットのアクティブ化を繰り返します。



「ツールでゾーンを作成」をタップします。ボックスが薄い灰色に変わります。



次のステップに進むには、このアイコンをタップします。



ツールが接続されていることを確認します。
バッテリーパックを取り外して差し込みます。



RECをクリックします。

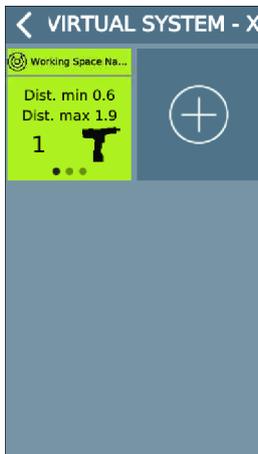
ツールを最小距離まで動かし、引き金を引きます。

次に最大距離まで動かし、引き金を引きます。

STOPをクリックします。



次のステップに進むには、このアイコンをタップします。



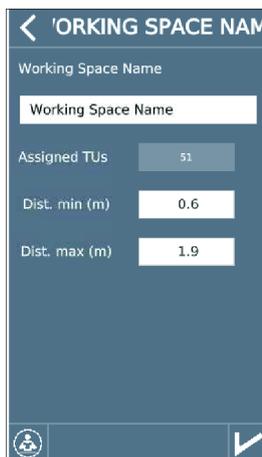
この締め付けユニットの作業領域が完了しました。

締め付けユニットが正しい場合、タイルをコントロール方向左にスワイプします。

作業領域を編集または削除するにはもう一度スワイプします。

4 - 手動での微調整

編集をクリックします。



図をクリックして、必要に応じて変更します。



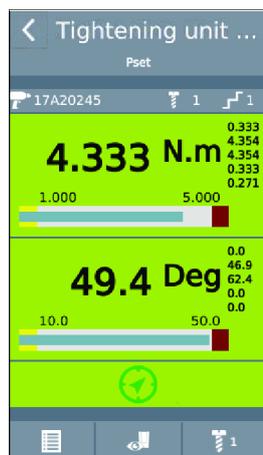
このアイコンをタップして認証します。



このアイコンをタップして終了。

5 - Psetを実行して設定をテストします。

作業領域でPsetを実行します。



上の画面で、システムが正しく機能していることを証明する緑色のアンカーを確認してください。

- ① ツールが作業領域の外側にある場合は、ツールディスプレイに「E931」と表示されます。終了するにはOKを押します。

操作手順

仮想ケーブルソリューションの使用

オペレータが作業スペース内でツールを使用すると、ツールが有効になります。

オペレータが作業スペースの外に出ると、ツールは無効化します。

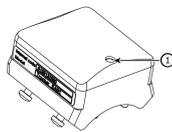
CONNECTとツールディスプレイの両方に、ユーザー情報「I931-トラッキングシステムでロックされたツール」が表示されます。[OK] をタップしてメッセージをクリアします。

- ① 締め付けが実行されている最中にオペレータが作業スペースの外に出ると、ツールは既定として停止します。この動作は、CVI CONFIGおよびCONNECTの締め付けユニットの設定にある、「進行中の締め付けが作業領域の外にあるときに停止」というパラメータで構成することができます。

トラブルシューティング

仮想ケーブルのトラブルシューティング

1つのコーディネーターとxつのトラッカーに基づく仮想ケーブルシステムを備えたLEDインジケーター :



コーディネータートラッキング ベース

トラッカー 診断 LED ステータス

LED 4	LED 5	LED 6	LED 1	診断 LED ステータス
オフ	オフ	オフ	青*	コーディネータートラッキングベースの電源の問題
白	青の点滅	青	オフ	トラッカーの電源の問題
白	青の点滅	オフ	青*	トラッキングベースの構成の問題 : 1.イーサネット/シリアル通信エラー。 2.使用されているネットワークインターフェースが正しくない 3.トラッキングベース IP アドレスが正しくない。 4.CONNECT とトラッキングベースの間にケーブルがない
白	緑の点滅	オフ	緑	CONNECT とトラッキングベースの間に構成の問題がある : 1.CONNECT と PoE インジェクター間に通信がない 2.使用されているネットワークインターフェースが正しくない ツールがロックされている
白	赤の点滅	青	青*	トラッキングベースの構成の問題 : 1.トラッキングベースのタイプが正しくない (マスターではなくスレーブ)
白	青の点滅	青	赤	トラッカー/トラッキングベースに構成の問題がある 1.UWB チャンネルが正しくない 2.MAC アドレスが正しくない

白	青の点滅**	青	青*	トラッカーがトラッキングベースから見えていない (範囲外)
			赤	
白	緑の点滅	青	緑	仮想ケーブルシステム OK
白	青の点滅**	青	オフ	トラッカースイッチオフ

* 以前の仮想ケーブルシステムがOKだった場合の LED の色。システムの再起動後は、LED の色は 2 番目の選択肢となります。

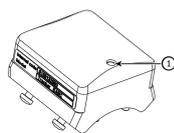
** 複数のトラッカーが使用されている場合：コーディネーター LED 5 は、1 つのトラッカーが機能するようになるとすぐに緑色に点滅します。

1つのコーディネーター、xのマスター、xのスレーブ、およびxのトラッカーに基づく仮想ケーブルシステムを備えたLEDインジケーター：

① 分析は、次の手順で実行する必要があります：

- ・ コーディネータートラッキングベースとそのトラッカー (存在する場合) を使用してUWBネットワークを確認します
- ・ 他のUWBネットワークを1つずつ確認します。

1.コーディネータートラッキングベースとそのトラッカーLEDのステータスを確認します。



コーディネータートラッキング
ベース

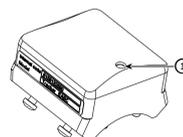
トラッカー 診断 LED ステータス

LED 4	LED 5	LED 6	LED 1	
オフ	オフ	オフ	青*	コーディネータートラッキングベースの電源の問題
			赤	
白	青の点滅	青	オフ	トラッカーの電源の問題

白	青の点滅	オフ	青* 赤	<p>コーディネータートラッキングベースの構成の問題：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.イーサネット/シリアル通信エラー。 2.使用されているネットワークインターフェースが正しくない 3.トラッキングベース IP アドレスが正しくない。 4.CONNECT とトラッキングベースの間にケーブルがない
白	青の点滅	青	赤	<p>トラッカー/トラッキングベースに構成の問題がある：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.UWB チャンネルが正しくない 2.MAC アドレスが正しくない
白	緑の点滅	青	緑	「ステップ 2 分析」に進む

* 以前の仮想ケーブルシステムがOKだった場合の LED の色。システムの再起動後は、LED の色は 2 番目の選択肢となります。

2.他のUWBネットワークを1つずつ確認します。



マスタートラッキングベース		スレーブトラッキングベース		トラッカー	診断 LED ステータス		
LED 4	LED 5	LED 6	LED 4	LED 5	LED 6	LED 1	
オフ	オフ	オフ	白	青 赤	オフ	青* 赤	マスタートラッキングベースに電源の問題がある
白	緑 点滅	青	オフ	オフ	オフ	緑	スレーブトラッキングベースに電源の問題がある
白	緑 点滅	青	白	緑	オフ	オフ	トラッカーに電源の問題がある

白	緑* 赤	オフ	白	緑	オフ	緑	<p>マスタートラッキングベースに構成の問題がある：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.イーサネット/シリアル通信エラー 2.使用されているネットワークが正しくない 3.トラッキングベースの IP アドレスが正しくない 4.CONNECT とトラッキングベースの間にケーブルがない
白	緑* 赤	青色 OFF	白	青* 赤	オフ	青*	<p>マスタートラッキングベースに構成の問題がある：</p> <p>トラッキングベースのタイプが正しくない (マスターではなくスレーブ)</p>
白	緑 点滅	青	白	赤	オフ	緑	<p>ツールがロックされている。スレーブトラッキングベースに構成の問題がある：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.UWB チャンネルが正しくない 2.MAC アドレスが正しくない
白	緑 点滅	青	白	緑* 青	オフ	赤	<p>トラッカー/スレーブトラッキングベース間に構成の問題がある：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.UWB チャンネルが正しくない 2.MAC アドレスが正しくない
白	青 点滅	青	白	青	オフ	青	<p>マスターとスレーブのトラッキングベースがコーデイナータトラッキングベースから見えていない (範囲外)</p>

白	緑 点滅	青	白	緑	オフ	青	トラッカーがスレーブ ラッキングベースから見えていない (範囲外)
白	緑 点滅	青	白	緑	オフ	緑	仮想ケーブルシステム OK
白	青 点滅	青	白	赤+緑* (交互) 青	オフ	赤+緑* (交互) 青	複数のコーディネーター追跡ベースが検出されている

* 以前の仮想ケーブルシステムが OK だった場合の LED の色。システムの再起動後は、LED の色は 2 番目の選択肢となります

** 複数のトラッカーが使用されている場合：コーディネーター LED は、1 つのトラッカーが機能するようになるるとすぐに緑色に点滅します。

1914年に設立されフランスに本社を置く Desoutter Industrial Tools は、航空宇宙、自動車、軽自動車・重量車両、オフロード、一般産業界を含む広範な組み立ておよび製造業務にサービスを提供する電動・空気圧アセンブリツールの世界的リーダーです。

Desoutter は、地元および 170 カ国を超える世界中のお客様の個別の要求を満たすために、包括的な範囲のソリューション、つまりツール、サービス、プロジェクトを提供します。

当社は、空圧・電動ドライバー、高度なアセンブリツール、高度な掘削ユニット、エアモーター、トルク計測システムなどの革新的な品質の産業用ツールソリューションを設計、開発、提供しています。

www.desouttertools.com で詳細をご覧ください



More Than Productivity